

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
国語	古典探究	2	習熟度	共通	3

教科書（発行所）	探求 古典探究 古文編・漢文編（桐原書店）
教科書以外の教材	1 三訂版 完全傍訳やさしくくわしい古典文法（尚文出版） 2 必携新明説漢文（尚文出版） 3 共通テスト＋センター試験 国語過去問題（尚文出版）

目 標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	【古文】 「蜻蛉日記」嘆きつつひとりと寝る夜 【漢文】 「孟子」・「荀子」	・日記を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉える。また、回想日記の特質を知って、平安時代の文学への関心を高める。 ・儒家思想の概要と諸子百家における位置づけを理解する。また、その思想が現代においてどのような意義を持つかを考察する。	課題考查 中間考查 期末考查
	2 学期	【古文】 「無名草子」小野小町 【漢文】 「世説新語」三横 【古文】【漢文】 R3 年 第一日程「栄花物語」「千載和歌集」 「欧陽文忠公集」「韓非子」 R3 年 第二日程「山路の露」「墨池記」 R3 年 特別追試「今鏡」「麟原後集」 R4 年 本試験「増鏡」「聖経室集」 R4 年 追試験「蜻蛉日記」「重編東坡先生外集」	・物語評論の最初の書である。女性文学者への批評を通じて、古文への興味関心を高める。 ・故事・寓話・逸話を拾い集めて、そこから教訓を導き出し、漢文への興味関心を高める。 ・歴史物語と和歌の説明文(現代文)を読み、和歌に関する内容読解や、複数の和歌の解釈をする。 ・欧陽脩の古詩と『韓非子』との組み合わせを読み、内容読解する。 ・同じ事柄を描く二つの文章の相違点を考ながら読解する。 ・七言律詩とその序文を読み、理解を深める。	課題考查 中間考查 卒業考查
	3 学期	R5 年 本試験「俊賴髓脳」「散木奇歌集」 「白氏文集」 R5 年 追試験「石清水物語」 「洋外紀略」「性理大全」 R6 年 本試験「草縁集」「詩林広記」 R6 年 追試験「景清」「激書」 R7 年 本試験 進学希望者がいる国公立大学、私立大学、各種専門学校等の過去問題演習と解説。	・歌論と和歌・詞書の組み合わせを読み、内容読解する。 ・白居易自身による、官吏登用試験の「予想問題」と「模擬答案」の組み合わせを読み、内容読解する。 ・江戸時代の歌文集に載る擬古物語的小品、和歌に関わる作品の組み合わせを読み、内容読解する。 ・杜牧の七言絶句「華清宮」とそれに関連した蔡正孫の『詩林広記』および程大昌の『考古編』の文章との組み合わせを読み、内容読解する。	
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等		1 提出物・宿題の期限を必ず守る。 2 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。 3 国語に苦手意識を持っていても、どれだけの努力をしたかが大切である。主体的・積極的に学習へ取り組もう。 4 ノートやプリントは板書をそのまま写すだけで終わらず、説明を集中して聞き、メモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、後から復習で活用できるように丁寧にまとめる。 5 1年間の学習を通して言語感覚を磨き、思考力や自ら進んで表現する姿勢を養おう。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の方法	定期考查・課題確認テスト（小テスト）・課題レポート・日々題・週課題、授業に臨む姿勢や意欲及び自己評価を総合的に評価します。 いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。		